



BF-04S

Back Finder
BF-08SBack Finder
BF-09S

取扱説明書

この度は、ベストンシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。

1

ご使用前の注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。(ただし、内蔵のカドニカ電池、吸盤などの消耗部品は保証の対象ではありません。)
- 万一、製品本体にロット番号シールが無い場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 本製品は、レーダー方式(Xバンド・Kバンド)の速度取締り機のみ有効で、電光管式・ループコイル式・ワイヤード等、他の方式による速度取締り機には反応しません。
- 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。
- (自動ア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー)
- 一部のナビゲーションシステム装着車において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する事があります。
- 太陽電池の発電量は使用環境(気象条件・駐停車中の日照状況等)の影響を受け易く、通常の使用状態より早く電池が消耗する事があります。この様な場合、シガーブラグからの併用充電を行ってください。

●断熱ガラス装着車はレーダー波の透過率が低いため、探知距離が短くなるおそれがあります。(弊社セパレートレーダー受信機のご使用をお薦めします。)

●本製品はDC 12V車専用です。したがって充電は、必ずDC 12Vをご使用ください。(DC 24Vは使用できません。)

●使用初期は、本機に振動を与えたがらバッテリーチェックスイッチを押しレベルメーターが3個以上点灯すれば充電不要です。2個以下ならレベルメーターが4個点灯するまで充電してください。

●車を長時間ご使用にならないときは、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

●車の交換・修理・バーン購入に関しては弊社サービス部へお気軽にお申しつけください。

●本機を厳寒地でご使用になるとさは、付属のシガーブラグをご使用ください。

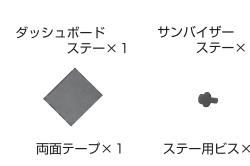
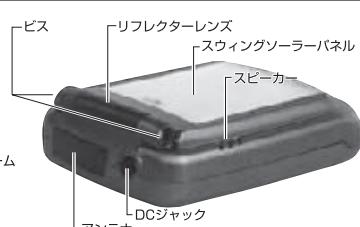
●環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本機又は、電池の回収箱を弊社に設置しております。

※本製品を取付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。

2

各部の名称と付属品

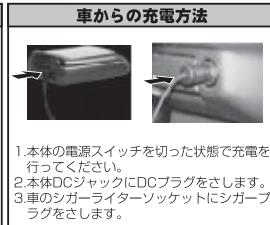
(以下の写真はBF-09Sを使用)



3

充電の方法と注意

- 本機に振動を与えるながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベルメーターが3個以上点灯すれば充電は不要です。
- 本機に振動を与えるながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベルメーターの点灯が2個以下の時もしくは、使用中にチャージサインが表示されたら付属のシガーブラグコードで充電を行いながら使用してください。



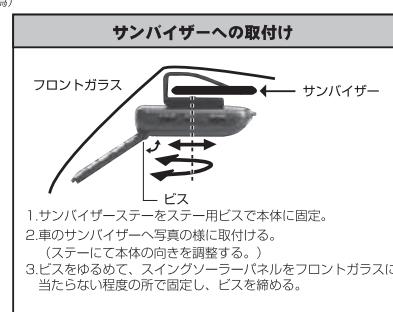
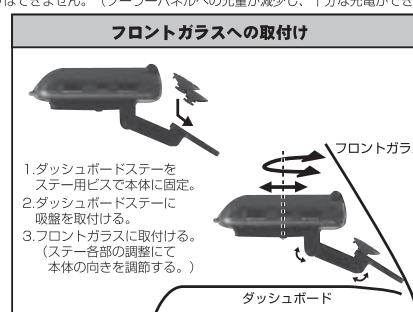
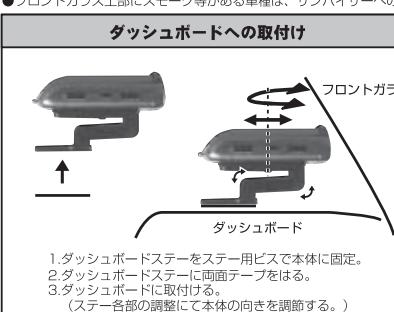
充電時の注意

- シガーブラグからの充電は、DC 12V以外では行わないでください。
- 本機の温度が約5°C~+80°C以外、及び過度の多い時は充電しないでください。
- シガーブラグからの充電中、テレビやラジオなどに雑音が入る時は、雑音が入らない場所へ本機を移動させてください。
- 本機内蔵のカドニカ電池は約5年が交換の時期となります。使用状況によっては短くなる場合があります。
- チャージサインが出たから完全充電するまでに本機の電源を切った状態で約7時間必要です。
- 本機をバッテリー等へ直接接続しないでください。必ず付属のシガーブラグをご使用ください。
- チャージサインが出る前にシガーブラグからの充電を繰り返すと、それに電池にクセがつき、電池の容量が残っていてもチャージサインが出るようになります。このような場合、ソーラーパネルに太陽光をあたえずに完全充電させると完全充電を2~3回繰り返してください。電池が寿命でない場合は復元します。

4

本機の取付け方法

- 本機取付け時は、必ず付属の取付けステーを使用してください。
- アンテナを車の進行方向に向け、路面に対して平行で、ソーラーパネル全体に太陽光がある場所に取付けてください。
- フロントガラス上部にスモーク等がある車種は、サンバイザーへの取付けはできません。(ソーラーパネルへの光量が減少し、十分な充電ができない為)



5

LSC-Vのセット方法

- LSC-Vは駐停車中にムダな警告音や電池の消耗を抑える為に、車の走行振動を(30~40km/h以上)を検出して電源の入・切を自動的に行います。
- 本機の取付け場所によっては、オーディオのスピーカー・エアコンの風・ワイヤー動作時の振動等の影響でLSC-Vが正常に作動しない場合があります。そのような場合は、影響のない場所へ付け替えてご使用ください。
- 本機の取付け場所によっては、車の走行振動を検出できずLSC-Vが正常に作動しない事があります。(下記項目を参考にしてください。)



取付け場所	振動の大きさ
サンバイザー	大
フロントガラス	中 (ワイヤーの影響を受けやすい)
ダッシュボード	小

注意 振動や雨風の激しい場所へ駐車するときは、本機の電源スイッチを切ってください。

6 音量の設定方法

●走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。



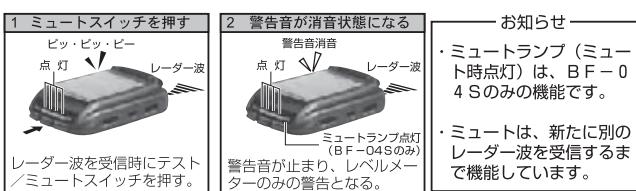
7 受信感度の設定方法

●走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。

電源を入れる		警報音を鳴らす	音量を調節する	電源を入れる	感度を設定する	感度設定の目安・受信状態				
感度	感度表示ランプ	感度表示ランプ	感度表示ランプ	感度	感度表示ランプ	受信時レベルメーター表示	SH	感度表示	SH	感度表示
S (スーパーハイ)	緑	緑	緑	H (ハイ)	橙	警報音が鳴る			L (ロー)	赤
						レーダー波を受信するとレベルメーターは、SHの感度で表示します。				

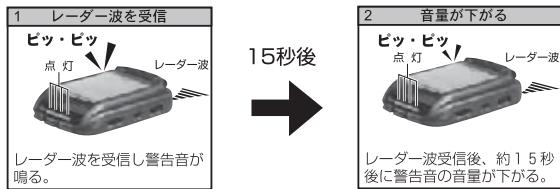
8 ミュートの使用方法

●レーダー波の発信源を確認し、まだ警報音が鳴り続ける状況時に、テスト／ミュートスイッチを押すと、レベルメーターは受信状態のまま警報音だけをカットします。
●ミュート状態は、別のレーダー波を受信するまで持続し、自動で待機状態に復帰します。



9 オートボリュームダウンの作動方法

●同一レーダー波を15秒以上受信し続けると自動で警報音の音量を下げ、不要となった警報音と電池の消費を抑え、静謐性を向上させます。



10 受信機能について

ステルス波の受信

●200～300m前方の車がステルス型取締機によって測定された時、電源／感度表示ランプの点滅が連続点灯し、ステルス音（ピロ・ピロ）で約3秒間警告後、通常警報音に変わり、レーダー波の発信源までの距離に応じてレベルメーターの変化で警告します。



●自動ドアやセキュリティシステム等でもステルス型取締機と同じ電波分布になった場合、ステルス音が鳴ることがあります。

従来レーダー波の受信

●レーダー波を受信すると電源／感度表示ランプの点滅が連続点灯し、レーダー波の発信源までの距離を警報音とレベルメーターでお知らせします。



●アラームランプが、ゆっくりとした点滅点灯をします。（BF-08S・BF-09Sのみ）

取締り連絡無線350.1MHzの受信（BF-08S・BF-09S）



●取締り連絡無線（350.1MHz）を受信すると、アラームランプが速い点滅点灯しピロ・ピロ音で約3秒間警告します。

11 機能用語の説明

待機状態

●電源／感度表示ランプが点滅して、警報音は鳴っていない状態。



LSC-V作動状態

●電源スイッチ入で、全てのランプが消えて、警報音も鳴らない状態。



12 仕様

	BF-04S	BF-08S/BF-09S
電源電圧	3.6V (耐熱用力ドニカ電池)	
電池容量	200mAh	
充電入力電圧	12V	
消費電流	待機時3mA 最大時60mA	待機時3.3mA 最大時65mA
受信周波数	Xバンド(10.525GHz) Kバンド(24.200GHz)	Xバンド-Kバンド 取締連絡無線(350.1MHz)
受信方式	ダブルスーパーへテロダイン方式	
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式	
温度範囲	-10°C～+80°C	
充電許容温度	-5°C～+80°C	
本体サイズ	W 74mm L 106mm H 28.5mm	
本体重量	136g	139g